

市議会だより

2024(令和6)年
2月10日発行

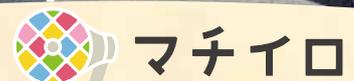
第80号



みよし商工まつりに市議会ブースを出展

令和5年12月定例会終わる

- ▶ こんなことが決まりました 2
- ▶ 市議会ブースを出展しました 5
- ▶ 中学生・高校生との意見交換会 6
- ▶ 三次市議会「議員と話そう」 7
- ▶ 市政を問う（一般質問） 8



「マチイロ」アプリでスマホからも
議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会

検索



が決まりました

12月定例会を12月1日(金)から12月15日(金)まで開催し、議案25件及び意見書3件を原案のとおり可決、議案1件を修正可決しました。

可決された条例

- 三次市遊休財産等利活用促進条例 **全員一致**
- 三次市特定公共賃貸住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市行政組織条例等の一部を改正する条例 **修正可決**
- 三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市認知症高齢者グループホーム設置及び管理条例及び三次市小規模多機能施設設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例 **全員一致**
- 三次市立中学校寄宿舎設置及び管理条例を廃止する条例 **全員一致**
- 三次市空家等対策の推進に関する条例 **全員一致**

その他の議案・報告

- 専決処分の報告について
(損害賠償の額を定めることについて・3件) **全員一致**
 - 指定管理者の指定について **全員一致**
 - 工事請負契約の一部変更について **全員一致**
 - 財産の無償譲渡及び無償貸付について **全員一致**
 - 工事請負契約の締結について(2件) **全員一致**
 - 三次市公益通報審査委員の委嘱の同意を求めることについて **全員一致**
 - 人権擁護委員の候補者の推薦について **全員一致**
- ### 意見書
- パレスチナ・ガザ地区情勢を憂慮し即時停戦と人道支援を求める意見書 **全員一致**
 - 地籍調査の一層の推進を求める意見書 **全員一致**
 - 带状疱疹ワクチンへの助成制度の創設を求める意見書 **全員一致**

議案の内容はこちら



意見書等はこちら



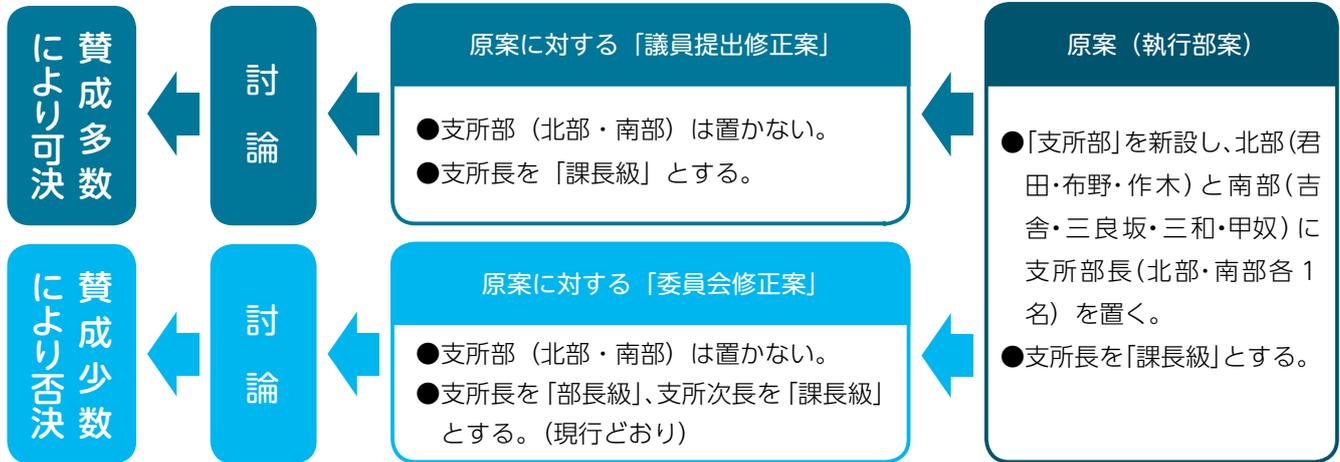
12月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

○…賛成 ×…反対

区 分	会 派	ともえ		清友会			明日への風			真正会			会派 未来		公明党	日本共産党									
		小田	新家	弓掛	藤井	月橋	宍戸	保実	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	杉原	齊木	鈴木	横光	竹原	大森	新田	黒木	中原	伊藤
議案第109号 三次市行政組織条例等の一部を改正する条例 【議員提出修正案】	可決 (賛成多数)	○	○	○	○	×	×	議長	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×
議案第109号 三次市行政組織条例等の一部を改正する条例 【委員会修正案】	否決 (賛成少数)	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○

※議員提出修正案…現在の支所次長(課長級)を支所長とする修正案
委員会修正案…現在の支所長、支所次長の体制をそのままとする修正案

議案第109号「三次市の行政組織条例等の一部を改正する条例（案）」の審議の結果



※修正案の部分を除く原案については、可決しました。

討 論

議案第109号「三次市行政組織条例等の一部を改正する条例（案）」に対する議員提出修正案

反対 徳岡議員

今回の修正案は十分に支所管内の市民へ情報提供し、意見を聞いてから作られたものなのか。住民の声を反映したものは考えにくい。

賛成 鈴木議員

市の課長級職員は各所属のリーダーとして責任感を持って業務に向き合っている。今回の修正案により支所の管理職を1名とすることについては理解できる。

反対 保実議員

本修正案は支所機能を低下させるものであり、支所廃止への第一歩と考えられる。

賛成 小田議員

この修正案は支所機能を低下させるものではなく、今後、行政として行っていかなければならぬ行政改革に繋がっていくものであり、状況の変化に応じた対応として適当と考える。

反対 増田議員

市民からは支所の今後の体制を不安視する声も複数出ており、支所のあり方もしっかり考えていかなければならない。行政も地域も考える、そして議会も考える。これが共創ではないか。

議案第109号「三次市行政組織条例等の一部を改正する条例（案）」の委員会修正案

反対 杉原議員

限られた職員を効率的に効果的に配置することが必要であると考え。課長級が支所を管理し、所属職員を統括していく責任者としての役割を果たすことは可能であり、ましてや支所機能には全く影響を生じさせないと思える。

賛成 穴戸議員

支所長が課長級になることにより、おのずと支所内で決裁が完結しない案件が発生する。災害時の対応では、支所の果たした役割が大きかった。それが全て副市長決裁ということになれば、支所内で決裁が完結しないことが想定される。そのようなことから地域住民の不安、あるいは批判が起こる可能性が高いと考える。



本会議の採決の様子

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、12月8日、12日に各委員会を開催しました。

教育民生常任委員会 12月8日開催

【付託議案】
議案第110号「三次市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（案）」ほか8議案

【審査結果】
いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第119号「財産の無償譲渡及び無償貸与については」、本議案可決後であっても、譲渡完了までの間は、利用者に支障がないよう設置者として必要な修繕等は責任を持って対応されたい。

産業建設常任委員会 12月11日開催

【付託議案】

議案第116号「三次市空き家等対策の推進に関する条例（案）」

【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

空き家の実態把握については、住民

自治組織等と連携して定期的に把握ができる仕組みを検討し、積極的に実態調査の推進を図りたい。また、市民の安全を確保できるように、しっかりとした緊急安全措置の実施体制を確立していただきたい。

総務常任委員会 12月12日開催

【付託議案】

議案第106号「三次市遊休財産等利活用促進条例（案）」ほか5議案

【審査結果】

議案第109号（修正案の部分を除く）
議案第109号修正案 賛成多数をもって可決

議案第109号以外 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

議案第109号以外 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決



連合審査の様子

議案第109号「三次市行政組織条例等の一部を改正する条例（案）」に対する修正案が提出されました。

（提案理由）

支所部を設けることは、地方自治法第158条第2項に定める「事務及び事業の運営が簡素かつ効率的なものとなるよう十分配慮されなければならない。」にそぐわないと考える。災害対応については現在の体制の維持が必要であるし、地域の皆さんへの説明等も十分に行われていないのではないかと。

【議案に対する意見】

修正案に反対の意見として、組織としてすっきりするのはいいことのように思えるが、部長職のままであることに賛成できない。三次市全体を考えると、いくうえで現在のままというのは違うのではないかと考える、といった意見や、支所部が複雑で煩雑であるとは思えない。支所部ができることによって地域に大きな影響を及ぼすようなこととはなれないと思う。支所の存続といった話に発展するようなことではない。といった意見が述べられました。

次に、修正案に賛成の意見としては、地域の理解ができていないというのが一番の理由である。支所機能が低下していくのではないかと懸念がある。と

いった意見や、三次市まち・ゆめ基本条例に掲げる協働の意味においても、市民へのきちんとした説明がまま進められるべきではない。といった意見が述べられました。

本議案は採決の結果、賛成多数により修正案は可決すべきものと決し、修正案を除く原案については可決すべきものと決しました。

（※紙面の都合上、意見の要旨を掲載していません。）



予算審議

定例会で、予算決算常任委員会に審査付託となりました議案7件について、12月13日に委員会を開催しました。

【付託議案等】

議案第122号「令和5年度三次市一般会計補正予算（第5号）（案）」ほか6議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

令和5年度 一般会計予算の補正(第5号)

※本会議初日に可決されました。

補正額 4億653万9千円追加

総額 404億3,486万1千円

※補正額は全額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業です。

■使い道 ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金

4億653万9千円

令和5年度 一般会計予算の補正(第6号)

補正額 3億581万7千円追加

総額 407億4,067万8千円

■主な使い道

・指定管理施設電気料金高騰対策支援補助金	6,000万円
・小学校教師用指導書購入事業	5,000万円
・生活保護扶助経費	4,900万3千円
・現年災害農業施設復旧事業	3,660万円
・こども医療公費負担事業	2,270万円
・担い手育成・強化事業補助金	1,473万1千円
・職員人件費等 (特別職・一般職・会計年度任用職員)	1,323万3千円
・有害鳥獣被害防止対策事業補助金	1,173万5千円
・特別支援学級整備事業	1,065万7千円 ほか

《繰越明許費》追加 18件	市制施行20周年記念事業ほか
《債務負担行為》追加 1件	下荒瀬最終処分場施設運転管理 委託業務
	文書等配送委託業務ほか
《地方債》変更 6件	浄化槽設置整備事業ほか
《地方債》変更 4件	

特別会計12月補正予算 3会計	
【国民健康保険特別会計】	713万円
【診療所特別会計】	▲64万6千円
【介護保険特別会計】	1,148万8千円

企業会計12月補正予算 2会計	
【病院事業会計】	
業務の予定量	▲1億3,372万9千円
(施設整備事業)	
資本的支出	▲1億3,372万9千円
債務負担行為 追加	
【下水道事業会計】	
収益的支出	0円 (同額増減補正)

補正予算の概要はこちら12月補正予算をご覧ください→



令和5年度 一般会計予算の補正(第7号)

補正額 1億6,932万1千円追加

総額 409億999万9千円

※補正額は全額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業です。

■使い道 ・子育て応援金事業

・畜産飼料価格高騰対策支援事業

1億4,932万1千円

2,000万円

市議会ブースを出展しました

10月22日(日)に開催された「第2回みよし商工まつり」に、三次市議会としては初めての取組となる、ブース出展を行いました。

当日は広報広聴常任委員会の8名の委員が参加し、「シール投票」と「議会クイズ」を実施しました。シール投票は「あなたが興味を持っているテーマをお聞かせください」として、こちらから提案するテーマの中で優先度1位から3位までの項目にシールを貼ってもらいました。議会クイズは「大人向け」と「子ども向け」を用意し、会場に掲示している議会の取組内容をヒントにしながら答えてもらいました。

シール投票には約300人、議会クイズには約160人の方に参加いただきました。ありがとうございました。

シール投票結果

	子育て・教育			医療・福祉			防災			交通・インフラ			文化・スポーツ		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
得票数	115	47	29	61	76	41	22	24	39	13	33	35	32	29	18
合計	191			178			85			81			79		

	地域活動			商工業			環境			農業			その他		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
得票数	15	21	41	23	26	26	7	21	35	10	19	28	5	1	4
合計	77			75			63			57			10		
得票数総合計												896			

「その他」の主な意見

- 女性議員の数を増やす施策をお願いします。
- 小さい町だからできる、大きな事をしたいです。

- 結婚したい。チャンスをください。
- 子育てと仕事両立できるように。

※当日の様子は表紙をご覧ください。

中学生・高校生との 意見交換会

広島県立日影館高等学校 11/16 木



主権者教育の一環として3年生の皆さんと意見交換を行いました。少人数のグループに分かれ、政治の話から将来の夢の話まで、幅広いテーマで話ができ、とても充実した時間となりました。

生徒の感想

➤ 議員の話はどうでしたか

生徒：三次市のために、どのような取組をしているのか詳しく知ることができました。

➤ 議会や議員に期待することはありますか

生徒：これから社会に出る若者が働きやすい環境を作っていくて欲しいです。



👉 議員に感想を聞きました

- 三次に帰ってカフェを開きたいという夢や、大好きな三次市をどうしたら住み良くなるかを真剣に語ってくれ、本当に素晴らしい意見交換会であった。
- ざっくばらんな意見交換会は、議員を身近に感じてもらう良い形だと思うので継続してもらいたい。

広島県立三次中学校

11/24 金

3年生の皆さんが「総合的な学習の時間」に作成されている「県北地域活性化案」について各グループから報告があり、その内容について意見交換を行いました。

12/21 木

「県北地域活性化案」のクラス内発表会があり、10グループから企画の提案がありました。大変緊張されたと思いますが、どのグループも堂々と発表されていました。



👉 議員に感想を聞きました

- 三次市の将来について真剣に考えていることが伝わってきた。一旦市外へ出ても、将来三次に帰ってくれることを期待したい。

広島県立三次高校定時制課程 12/20 水



「政治的教養の教育」として1年生から4年生の皆さんに出前授業を行い、その後、広報広聴常任委員会の委員と意見交換を行いました。

👉 議員に感想を聞きました

- 生徒たちが積極的に発言してくれた。次年度もこのような意見交換会を開催して欲しい。



三次市議会

「議員と話そう」を開催しました。

今年度は名称を新たに『三次市議会「議員と話そう」』に変更し、11月1日から28日まで、市内19会場で開催し、延べ258名の参加がありました。

2部構成とし、第1部ではパワーポイントを使用して3常任委員会の活動報告を行いました。第2部では、ワークショップ形式による意見交換を行い、議会運営や議員活動、市政全般に対する多くのご意見やご提言をいただきました。



三和会場

- こんな意見がありました
- 意見提言やアンケートの中から一部をご紹介します。
- 人口を増やさないとしとしての活動が低下していく。人口を増やすための施策を具体的に進めてほしい。
 - 芸備線の利用促進について、利用時間を含めたダイヤの見直しで乗車人数が増えるのではないか。
 - イノシシも賢くなっているので、圃場に防護柵をしても効果がない。高齢化も進み対策に困っている。
 - 道路などの管理面で、長期で草が生えにくい方法や、管理しやすい方法を調査研究してほしい。

開催日	会場名	参加者数
11月1日	栗屋コミュニティセンター	8
	川地コミュニティセンター	18
11月2日	みわ文化センター	9
	酒屋コミュニティセンター	13
	川西コミュニティセンター	12
11月7日	十日市コミュニティセンター	7
11月8日	よっしゃ吉舎	17
11月10日	作木山村開発センター	19
	三次市三良坂支所	18
11月13日	甲奴健康づくりセンター ゆげんき	15
	河内コミュニティセンター	16
11月15日	三次ふれあい会館	17
11月17日	君田生涯学習センター	15
11月21日	八次コミュニティセンター	4
11月22日	青河コミュニティセンター	11
	和田コミュニティセンター	4
	布野生涯学習センター	18
11月27日	田幸コミュニティセンター	22
11月28日	神杉コミュニティセンター	15
合計		258

- 成果や課題、今後の改善など
- 1 成果
- 参加者と議員の距離が近く、議員を身近に感じてもらうことができた。
 - ワークショップ形式であったため、質問や意見をたくさん聞くことができた。
- 開催状況やご意見・ご提言・アンケート結果等を踏まえ、広報広聴常任委員会での今後の改善等について協議しました。今回の開催に向けての改善策等について、今後、協議を重ねてまいります。



作木会場

- 2 運営上の課題
- テーマをしぼり、地域に合った課題で意見交換すべきである。
 - 参加者をいかに増やすか。(若い世代を含む)

市政を問う

令和5年12月定例会 一般質問



おだ しんじゅく
小田 伸次
ともえ

質問1
三次市の財政の数値評価は

財源の大幅な増加が見込まれない中、市民サービスを維持していく必要があるが、令和8年度には経常収支比率が100%を超える予想が示された。現在の自主財源・経常収支・実質公債の比率の数値をどのように捉え、今後の財政運営を行う考えか。

財政指標		
区分	令和4年度	令和8年度
財政力指数	0.334	0.352
経常収支比率	98.4%	100.3%
実質公債費比率	7.0%	8.9%

三次市財政計画

※経常収支比率…
財政構造の弾力性を判断するための指標で、数値が低いほど財政に余裕があるといえる。
実質公債費比率…
比率が高くなるほど、借入金返済の資金繰りが厳しいことを表す。

答弁1
健全性を維持し、持続可能な財政運営に努める

今後の人口減少などで歳入が減少し

細美副市長

質問2
各住民自治への取組は

共創のまちづくりを進めていくこととするのであれば、住民の理解なくしてはできないと考える。現在常会や自治組織の弱体化が進んでいる。行政はどのように連携して地域課題に取り組んでいくのか。

答弁2
今後の三次市の共創を行う決意である

福岡市長

これからは自分たちができることは何かないか、ということをも市民の皆さんに探ってもらい、そういった意識の醸成というものが今後もっと必要になってくる時代だと感じている。もちろん短期間で一気に変わることはできないが、訴え続けることによって、市民、地域事業者、様々なところと連携しながら、今後の三次市の共創を行っていききたいという決意である。



ふじい けんいちろう
藤井 憲一郎
ともえ

質問1
積極的な市所有の財産処分を

三次市では、旧三良坂小学校体育館を主な会場として「不用物品即売会」が開催されている。加えて「メルカリShop」に市公式ショップが開設された。ショップ開設に至った理由について伺う。

答弁1
限りある資源を有効活用していく

桑田総務部長

業務の変化や公共施設の廃止などに伴い、使用する機会がなくなった物品などの活用については、不用物品即売会を開催してきたが、開催日が限られているなど課題もあった。このため、公式ショップを開設し、リユース活動のさらなる推進に取り組むこととした。

質問2
今後の道の駅のあり方は

道の駅という概念が誕生して30周年を迎える。道の駅は単なる休憩所では

答弁1
経営向上に向けた支援を行っていく

才田布野支所長

経営改善に向けた経費削減、各部門の見直しを継続的に実施するとともに、営業努力や新たな産品開発などによる利用客増加や収益性向上に向けた取組をされている。市としても課題解決、経営の向上につなげていくため、引き続き、情報提供や協議などの支援を行っていく。

答弁2
主体性を大事にしながら今後も見守っていく

福岡市長

時代の流れとともに道の駅の役割も変化しつつあると考える。いずれにしても、道の駅が主体となったいろいろな取組を期待し、主体性をしっかりと大事にしながら、今後も見守っていききたい。



布野ふれあい市場



質問1 行方不明者の捜索マニュアル作成への取組が必要ではないか

増加傾向である行方不明者の捜索について、早期発見の重要性から、地域住民など有志の方々との連携も含めた捜索マニュアルの作成が必要であると考え、三次市として調査や研究ができないか、所見を問う。

答弁1 官民協働で命を守る取組を進めていく

行方不明者の捜索活動に当たって最も重要なのは、情報であると認識している。広く市民に情報提供を呼びかける中で、市民からさまざまな情報があっても提供してもらうことが官民協働による命を守る取組、共創につながると考えている。このようなことを踏まえ、今後取組んでいきたいと考える。

福岡市長

質問2 火災発生時に音声告知放送を利用した連絡手段導入ができないか

火災発生情報の連絡について、支所管内では、音声告知放送を利用した連絡手段があるが、旧三次市管内では放送されていない。避難や初期消火を目的とした地域への周知や消防団員への連絡手段拡充として、全市内において音声告知放送を利用した方法を導入すべきと考え、所見を問う。



火災を発見したら緊急連絡や避難を

答弁2 引き続き研究していく

基本的に市民には警報装置や家庭用の消火器等を準備してもらうことが必要であると考え。周知については、確実に多くの消防団員へ知らせることが必要であるが、音声告知放送がよいのか、その他の手段がよいのかについては、引き続き研究していきたいと考えている。

山田危機管理監



質問1 市の管理する県道の将来的な管理体制は

市の管理する県道「和知三次線」「穴笠三次線」は、広域ネットワークとして市街地北部を東西に結び、願橋を含めて、本市の都市基盤を支える重要な路線である。今後、旭橋の改築等大規模整備や願橋の橋梁管理が必要だが、将来的な管理体制はどのようにしていくのか。

答弁1 長寿命化対策に取り組んでいる

加藤建設部長

この沿線は、防災上重要な施設や主要な観光資源が集積する極めて重要なエリアである。このような重要な道路インフラについては定期点検や橋梁整備の実施など、長寿命化対策にも取り組んでいる。今後の抜本的な整備に当たって



三次町内の県道「和知三次線」の未改良区間

は国・県など関係機関と連携し検討していきたいと考えている。併せて、県道「和知三次線」や「穴笠三次線」といった三次市街地における県管理路線網の再編についても広島県に要望している。

答弁2 広島県と検討、協議していく

福岡市長

社会情勢に応じて道路の役割も変わってきている。今後も広島県としっかり検討、協議しながら道路整備について着実に進めていきたい。

質問2 県立三次中学校へ三次学校給食センターからの学校給食の提供を

県立三次中学校はテリバリー給食である。二次学校給食センターから提供することにより、生徒は温かく美味しい旬の食材や地元の食材を取り入れた給食を食べることができる。地元産品・地元業者の利用促進の観点からも効果的である。県と必要経費を分担した上で、給食を提供していくべきではないか。

答弁2 県教育委員会と検討していく必要がある

宮脇教育次長

県立三次中学校の給食については、県教育委員会が提供方法を決定している。学校給食は保護者負担を除けば、義務教育諸学校の設置者の負担とされている。三次学校給食センターから提供することについては、県教育委員会と検討していく必要があると考えている。



徳岡 真紀
明日への風

質問1
18歳までの切れ目ない支援のため
に情報の一元化を

本市では18歳まで切れ目ない支援としてネウボラ事業に力を入れているが、進学の間で切れ目が出てきているとの声を聞く。子どものどのステージ段階でも状況が分かればかわり方や支援の方法も変わってくるのではと思うが、現在ある様々な情報のファイルを一元化し、切れ目がない支援ができないか。



三次市の妊娠・出産・子育て相談支援センター「ネウボラみよし」

答弁1
令和6年度に本格運用を行う予定

現在、本市においては広島県のモデル事業である「子供の予防的支援構築事業」

立花福祉保健部長

に参加し、母子保健・福祉・教育などの子どもに関する情報を一元化し、その情報を基にAIがリスク予測を行い、調査を踏まえて必要な予防的支援が行えるよう、健康推進課・子育て支援課・学校教育課・社会福祉課・情報政策課で運用に向けて準備を行っている。

質問2
不登校対策として多様な居場所への支援を

年々増加する不登校の原因は様々で、学校以外の居場所づくりも急務である。学校以外の居場所としてフリースクールがあげられるが、本市には、まだ3箇所のみであり、新たな立ち上げや運営などに対する支援やフリースクールへ通うための費用への支援も行えないか伺う。

答弁2
学ぶ場、居場所づくりへの支援をしていく

迫田教育長

フリースクールには様々な運営形態があり、指導体制や施設についても実施団体によって様々だと認識している。そのようなことから、財政的な支援としては課題もあり難しいと考える。本市としては、一人一人の学ぶ場、居場所をしっかりと作っていく取組への支援をしたい。



横光 春市
真正会

質問1
給食費の無償化を

地域未来づくり事業の報告では、44年後の人口推計は27,683人と推計されている。子育ての環境、教育の環境を整え、結婚しよう、子どもを産み育てようと思われる政策が必要であり、「給食費の無償化」を提言するが所見を伺う。

答弁1
国の動向を注視していく

宮脇教育次長

近年、学校給食費の無償化を独自で導入する自治体もあるが、完全無償化については、将来にわたって財政支出を伴う点が大きな課題であると捉えており、国の動向を注視していきたいと考えている。

質問2
林地開発許可は妥当であったか

吉舎町檜地区に太陽光発電設備施工中に土砂災害が発生し、住民は不安な状態で生活している。林地開発許可は妥当で



吉舎町檜地区の太陽光発電設備設置工事の箇所

あったのか。許可した後に林地開発許可基準が改正されているが、業者に指導しているのか。また、檜地区の区長名で要望書が提出されているが、市としてどのように対応されているのか伺う。

答弁2
基準に沿っているものと認め、許可を行った

中廣産業振興部長

林地開発許可に当たっては、災害・水害防止、水源の確保、環境の保全について確認し、それらに影響を及ぼすおそれがない場合に許可をしている。吉舎町檜地区の太陽光発電設備設置工事については、許可基準に沿っているものと認め、許可をしている。事業者に対しては、施工中も含め、土砂災害が発生しない条件を付して許可しているが、濁水や土砂流出等が発生した場合は、関係部署とも情報共有し現地確認を行い、指導を行っている。要望書については、令和4年7月の大雨による被害に伴い提出されたものであり、事業者に対して再発防止の指示を行った。事業者においては、土砂の撤去等、速やかに対処している。



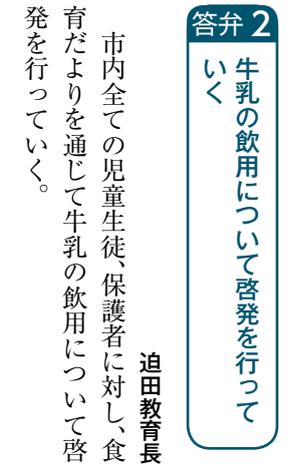
質問1
酪農業の窮状に支援を

様々な社会情勢の影響による電気代、燃料代、飼料代の高騰により酪農業の生産現場は苦しんでいる。国や県の飼料高騰対策補填金等の緊急対策は、どのように発動されているのか。また、児童生徒には冬休み期間中も牛乳を飲むよう、呼びかけてはどうか。

答弁1
支援策の実施を考えていく

中廣産業振興部長
令和5年度の配合飼料価格安定制度の発動状況は国と県を合わせると、1t当たり4月から6月までが13,950円、7月から9月までが12,250円となっている。

福岡市長
市としては飼料価格等の高騰に対し、国や県の支援策の動向を踏まえながら支援策の実施を考えていきたい。



質問2
ツキノワグマが指定管理鳥獣の對象となるよう要望を

ツキノワグマによる被害が全国各地で発生している。三次市の隣町でも人的被害があり、クマの生息数は増加傾向にあると思われる。指定管理鳥獣としての捕獲対象となるよう県へ要望書を提出してはどうかと考えるが、市の見解を伺う。

答弁1
引き続き要望していく

福岡市長
国や県に対してツキノワグマの対策強化につながる鳥獣保護管理法の改正について要望を行うとともに、県による生息個体数、被害状況などのモニタリング調査に基づき、一定の捕獲が可能となるよう引き続き広島県市長会等を通じて、第二種特定鳥獣(ツキノワグマ)管理計画の見直しを要望していきたいと考える。

答弁2
牛乳の飲用について啓発を行っていく

追田教育長
市内全ての児童生徒、保護者に対し、食育だよりを通じて牛乳の飲用について啓発を行っていく。

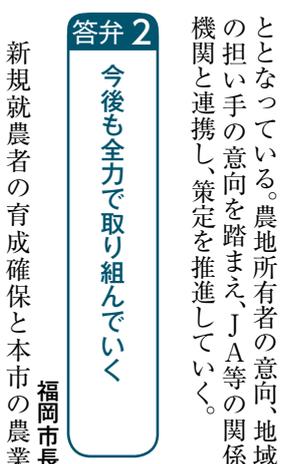


質問1
鳥獣被害対策と地域農業の確立を

三次市鳥獣被害防止計画を基に、まぢぐるみの対策推進を強化しているが、狩猟免許・罟猟免許取得補助の増額、狩猟者・駆除班の報奨金や処遇を改善し、従事者の育成をすべくではないか。また、中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度がわかりにくい。人・農地プランの切替えには認定農業者の経営安定など様々な課題を活かし、地域農業の確立を目指してはどうか。

答弁1
低い補助内容ではないと考える

中廣産業振興部長
有害鳥獣の捕獲に対する補助金は市町によって異なるが、本市では、捕獲補助金の他に出勤手当や活動補助、箱罟の管理費、猟犬の治療費などを補助しており、総合すると、他の市町と比較しても決して低い補助内容ではないと考えている。中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払制度については活動内容や交付金の使い道等が構成員の皆さんに伝わるように指導しており、引き続き相談等があれば柔軟に対応していくよう考えている。また、これまでの「人・農地プラン」が、法改正により、地域での話し合いによって将来の農地利用の在り方を明確化する「地域計画」と「目標地図」を策定するこ



質問2
市民の安心・安全な暮らしを守る機器の活用を

高齢者、障害者の急病に緊急通報装置が有効である。普及啓発と利用状況はどうか。また、特殊詐欺発生の抑止力になる防犯機能付電話機等の購入費補助事業を早期に導入してはどうか。

答弁1
民生委員等と連携して取り組んでいる

立花福祉保健部長
緊急通報システム事業は民生委員や三次市地域包括支援センター、備北地区消防組合などと連携して取り組んでいる。11月現在で1,553件が設置されている。

答弁2
今後も全力で取り組んでいく

福岡市長
新規就農者の育成確保と本市の農業をリードする担い手や小規模農家等、多様な担い手の育成強化を図り、将来にわたって農地の適正な維持管理が行われるよう、今後も持続可能な地域農業の確立をめざして全力で取り組んでいく。

答弁2
可能な限り周知に努めていく

山田危機管理監
市ではこれまで出前講座や防犯活動、チラシの配布などにより特殊詐欺の発生防止を図っている。現時点では補助事業は考えていないが、引き続き電話による特殊詐欺防止のための電話機、あるいはサービスの導入について促していく。



質問1 みんなでつくる第3次総合計画策定は

計画の策定にあたって「基本的な視点」のみならず、みんなでめざす計画とあるが、「みんな」とは誰か。また、「みんな」はそれぞれ立場が違う。丁寧にそれぞれの計画策定をすべきであり、実効性・生活の安定につながる計画でなくてはならないのでは。

答弁1 市民からの多様な意見を取り入れていく

菅岡経営企画部長
三次市まち・ゆめ基本条例における「市民」の定義に沿って、総合計画では「みんな」と表記している。そういう考えのもとで市民や地域、企業が一緒になってまちづくりを進めていくものと捉えている。今後も計画素案に対するパブリックコメントを実施するなど、市民からの多様な意見を反映した次期総合計画を策定していく。

質問2 市立三次中央病院建設に向けて労働条件改善を

看護師不足の現状と課題をどう捉えているのか。募集しても応募がないと言っているが、その打開策として、他市でも行っている初任給調整手当の導入をどうしているか。また、短時間勤務が守られていないケースや、当直等の28時間以上の長時間勤務等の解消への取組は。

答弁2 調査検討に努めていく

片岡市民病院部事務部長
初任給調整手当の制度設計について、新しい病院での経営のことも勘案し、引き続き調査検討に努めていく。また、拘束時間が長い点については配慮が必要であると認識している。現在、副師長を中心に人員配置の見直しの検討をしており、長時間労働の改善について取組を進めていく。



当直勤務の様子(市立三次中央病院)



質問1 中学生の自転車通学の自由化はできないか

生徒会やPTAの役員の任期は短く、自転車通学の距離規制の変更のような大きな変革を行うことは難しいと考える。教育委員会が三次市全体の事として検討してはどうか。

答弁1 各学校で考えていく課題だと捉えている

追田教育長
自転車通学を許可する要件については、各中学校が学区の広さや地理的条件、周辺の道路状況等、それぞれの実情に沿って定めている。教育委員会としても学校の方から相談や助言を求められれば一緒に考えていく。

質問2 キリリパーク(五龍川貯留施設)に設置されているカメラの利活用について問う

畠敷・願万地地区では、危険な行為にも関わらず、深夜でも大雨が降る度に水位を確認するため河川まで出向く方々がいる。カメラ映像をWEB配信し、住民が貯留地の様子を確認することができれば、事故防止にもなり、安心安全な街づくりにつながると考えるが、いかがか。

答弁2 慎重に判断していく

加藤建設部長
防災面でのカメラ映像の活用については、慎重に判断していく。なお、河川の水位情報やライブカメラ映像などの防災情報については国土交通省や広島県のホームページでも公開されている。それらの情報も有効に活用していただきたい。



キリリパークに設置されているカメラ



質問1 ふるさと学生応援事業の継続の考えは

この事業は国からの交付金を活用し、本市出身で市外に在住している学生へ本市で生産された農産物等を送る事業であり、令和4年度で終了している。コロナが5類に移行したものの、未だに物価高騰は続いていることから、学生への応援として、事業の継続の考えはないか伺う。



三次市ふるさと学生応援事業

答弁1 現段階での実施は考えていない

中廣産業振興部長

コロナ禍という状況、行動制限、そのような時期に対して三次市として応援していこうと実施した事業である。現段階での実施は考えていないが、シテイプロモーションの活動として、市外に出られた方とのつながりを持続可能なものとするよう、今後も、三次産品を活用したキャンペーンなどを通じて、本市とのつながりづくりを進めるとともに、三次産品や本市の活動をPRしていきたいと考えている。

質問2 生理休暇の名称変更の考えは

民間企業では、生理休暇の名称を「ヘルスケア休暇」や「ウェルネス休暇」と変更し、生理だけでなく、更年期による体調不良や不妊治療の通院にまで範囲を広げている企業もある。本市においても職員が休暇を取得しやすいよう名称変更してはどうか。市の考えを伺う。

答弁2 他の事例を参考にしながら研究していきたい

桑田総務部長

本市では、「生理休暇」は通称で使用している。

休暇を取得しやすい環境整備も含め、国の制度、他の自治体や民間の事例などを参考に研究していく。



質問1 君田温泉運営会社の清算状況と運営再開は

君田温泉運営会社の清算業務は年内を目途と承知しているが、現在の進捗状況と清算結了の時期はどうなるのか。その業務を行う上で「健康ふれあい施設管理運営基金」の運用が通常清算か、特別清算になるかを決めることになるのではないかと。

また、新たな運営団体を「君田温泉施設の無償貸与に係る公募型プロポーザル募集要領」で公募されたが、事業継続期間10年間、施設リニューアル等に1億円の補助金、施設管理経費が多額を要することなどから応募者が見込めるのか。再開の時期はいつになるのか。

※通常清算：解散した会社が、残った債務を全額支払うことができる時に取られる清算方法

特別清算：解散した会社に債務超過の疑いがある場合などに、適正な清算を行うため、裁判所の監督下で行われる清算手続

公募型プロポーザル：自治体・官公庁のサイトで入札情報を公開することで、広く参加者を募る方式

答弁1 12月には支払債務を履行予定

中廣産業振興部長

清算業務の進捗状況としては12月には支払債務を履行し、経理処理を整えた後、令和6年1月には株主総会を開催し、清算業務に関する状況報告と決算見込に関する経理状況を提示する予定である。今のところは通常清算になろうかというふうに清算人から伺っている。

堂本副市長

清算結了の登記というものは、完了時期は来年の4月または5月というような段階になってくる。

「健康ふれあい施設管理運営基金」については、清算が済んだ段階で検討していきたいと考えている。

答弁2 再開時期については明言できない状況

中廣産業振興部長

公募については、これまでの修繕経過などマイナス要因も含めた参考資料を要項とともに出している。そういったところを最初から広く出していくことが重要であると専門家にもアドバイスをもらっている。公募開始以後は直接的な問合せはないが、公募前に9件の問合せを受けている。なお、現時点で再開時期については明言できない状況である。



質問1
不登校といじめ対策は

9月に令和4年度の全国の不登校児童生徒数が約30万人に達したと発表があり、前年度比約5万4千人増えている。国も来年度予算を前倒し、令和5年度補正予算に計上している。本市においても検討ばかりではなく、早急に不登校特例校を設置するべきと考えるがいかがか。

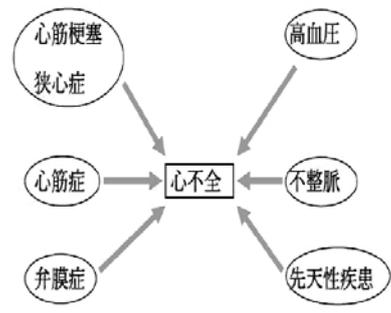
答弁1
対応を速やかに行う体制を取っている

不登校対策については、児童生徒の学びの場や安心して過ごせる場の確保及び県のスクールカウンセラーの配置、保護者からの相談への対応など、速やかに行う体制を取っている。不登校の未然防止を図るとともに、学びの多様な学校（不登校特例校）の設置を含め、市全体での学びのあり方を考えていく必要がある。

迫田教育長

質問2
三次市特定健診への提言

広島県の死因第2位の「心疾患」は、三次市では20.7%を占め、広島県平均の16.8%を上回っている。高齢化による高血圧や弁膜症の増加などにより、心不全の患者は急増している。BNP検査を三次市の特定健診項目として増やすことを提言する。



心不全を起こすいろいろな病気

※BNP検査…心臓への負担の程度を大まかに知ることができる検査

答弁2
連携しながら検討を進める

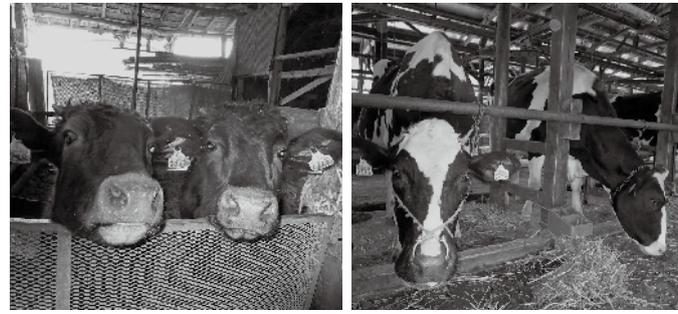
心不全の早期発見や憎悪傾向、治療効果の確認に役立つ重要な指標として医学的評価がされており、三次地区医師会からも推奨する助言をもらっている。本市としても有効な対策になると考えており、三次地区医師会と連携しながら検討を進めていく。

福岡市長



質問1
畜産農家支援を問う

和牛(肥育)、酪農家を取り巻く環境は、飼料価格高騰や子牛価格の下落、物価高、光熱費の値上げ等により、大変厳しい経営が続いている。こうした中で国や県は緊急対策事業を行っているが、三次市としても支援ができないか伺う。



畜産農家の和牛と乳牛

答弁1
国の交付金を活用した支援策を講じる必要がある

飼料費等の高騰対策については、厳しい状況であると認識している。畜産経営の安定化を図るため、国の交付金を活用した支援策を講じる必要があると判断しており、本定例会に予算を提案する考えである。

福岡市長

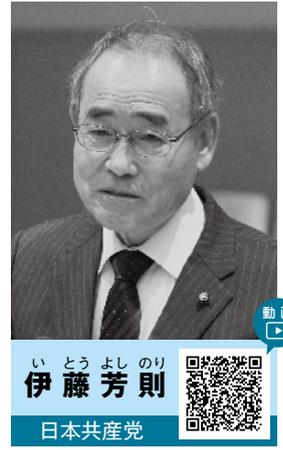
質問2
骨粗しょう症検診事業を問う

加齢などにより、骨密度が減少する骨粗しょう症になると骨折しやすくなり、要介護状態になるリスクも高くなる。骨粗しょう症検診で早期発見し、適切に治療することにより要介護状態になるリスクを減らせると考えるが、市の見解は。

答弁2
検査方法等、現在検討している

骨粗しょう症を市が実施する検診の検査項目に追加することについては、三次地区医師会からも推奨する助言を受けている。検査方法、費用、結果の活用を含め、現在検討をしている。

立花福祉保健部長



いとう よしのり
伊藤 芳則
日本共産党



質問1 持続可能な農業対策が必要ではないか

食料自給率向上には農家の減少を食い止めなければならない。10年間で5,129戸が3,238戸に減少しており、小規模農家が守ってきた農地が維持できなくなっている。所得補償や農機具購入の補助金等、農家への支援が必要ではないか。

答弁1 今後いろいろな視点で考えていきたい

現在実施している補助事業があるが、様々な観点から今後、多様な担い手という位置づけのなかで、どういった支援が必要なのかいろいろな視点で考えていきたい。

質問2 鳥獣被害対策の強化が必要ではないか

鳥獣による被害は拡大しており、深刻化している。駆除班や狩猟者登録者の協

力のもと、市としてプロジェクトチームを設置し、捕獲駆除体制を強化すべきではないか。また、奨励金については捕獲と駆除を区別せず、統一するべきではないか。



鳥獣捕獲体制の強化を

答弁2 プロジェクトチームの設置は考えていない

鳥獣の捕獲許可要件のひとつに、捕獲後の処理がある。許可を受けた者が責任をもって最終処分まで行うこととなっており、捕獲後の個体処理をするための担当者・プロジェクトチームの設置は考えていない。また、奨励金の統一は、狩猟と駆除は、目的や期間が異なるため困難であると考える。

議員研修会を開催しました

10月24日(火)に浦田愛さん(NPO法人ほしはらのがっこう副理事長)を講師としてお招きし、議員研修会を開催しました。

今年度は「ワークショップにおけるファシリテーターの役割」と題して講演していただきました。

研修会では、「感想や疑問点などを自由におしゃべりするペチャクチャタイムを取り入れるのが効果的」といったことや、「参加者がリラクセスして発言できるように会場づくりも重要である」といったお話をされました。



議会のうごき

2023(令和5)年11月1日～
2024(令和6)年1月31日

11月

- 1日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会
- 7日 教育民生常任委員会
- 14日 教育民生常任委員会
- 16日 意見交換会(日彰館高校)
- 20日 議会運営委員会、全員協議会
- 22日 市議会トピックス出演(教育民生常任委員会)
- 24日 意見交換会(広島県立三次中学校)
- 30日 議会運営委員会

12月

- 1日 12月定例会本会議、全員協議会、広報広聴常任委員会
- 4日～6日 12月定例会本会議(一般質問)
- 5日 議会運営委員会
- 7日 3常任委員会(議案の調査研究)
- 8日 教育民生常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 総務常任委員会
- 13日 予算決算常任委員会
- 14日 広報広聴常任委員会
- 15日 議会運営委員会、12月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 20日 市議会トピックス出演(正副議長)、意見交換会(三次高校定時制)
- 21日 地域活性化案クラス内発表会(広島県立三次中学校)
- 22日 市立三次中央病院建替等調査特別委員会

1月

- 12日 議会運営委員会、広報広聴常任委員会
- 15日 総務常任委員会
- 16日 広報広聴常任委員会、教育民生常任委員会
- 22日 議会運営委員会、会派代表者会議、広報広聴常任委員会
- 24日 市議会トピックス出演(市立三次中央病院建替等調査特別委員会)
- 26日 全員協議会

行政視察受入状況

- 11月7日 新潟県上越市議会(三次市地域の未来づくりアドバイザー事業業務委託・三次市女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタlab.」について)
- 15日 福岡県田川市議会(いじめ防止・不登校対策推進事業について)
- 1月24日 熊本県人吉市議会(予算決算常任委員会・高校生との意見交換会について)
- 2月7日 大阪府貝塚市議会(オンライン委員会について)



きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は **2月22日(木)** に開会する予定です。

いいね
みよし

広報広聴常任委員が市内で撮影した、
お気に入りの1枚をご紹介します

霧の海



令和5年度三次市二十歳のつどい



学習発表会



広島県高等学校駅伝競走大会



伊賀和志リレーマラソン



あしがき

広報広聴常任委員会では、今期様々な取組をして参りました。具体的には、議員を身近に感じてもらうと今年度より議会報告・懇談会を三次市議会「議員と話そう」と変更し、19会場で開催いたしました。また、先進地に学び「みよし商工まつり」での初めて議員ブースを出展し、多くの世代から関心を持ってもらいました。

そのほかにも、市議会だより・高校生、中学生との意見交換会、ピオネット出演等の企画運営も行っています。

今期の委員会活動は残すところ2ヵ月となりました。「市民参加型の議会」を目指しておりますが、道半ばです。

4月には市議会議員選挙が実施され新しい議会構成となりますが、さらに市民の皆様一人一人の思いを政策に反映できる議会へと飛躍していきたいと思っております。(重信好範)

注目スポット

三良坂町「馬洗川桜土手」



三良坂町の中心部を流れる「馬洗川」。地元の有志の皆さんが環境整備されている JR 三良坂駅の対岸の土手には、春には桜、秋には彼岸花が美しく、口コミで年々来訪者が増えています。

美味しいお店も沢山ある三良坂町を散策してみませんか。(藤井憲一郎)

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp